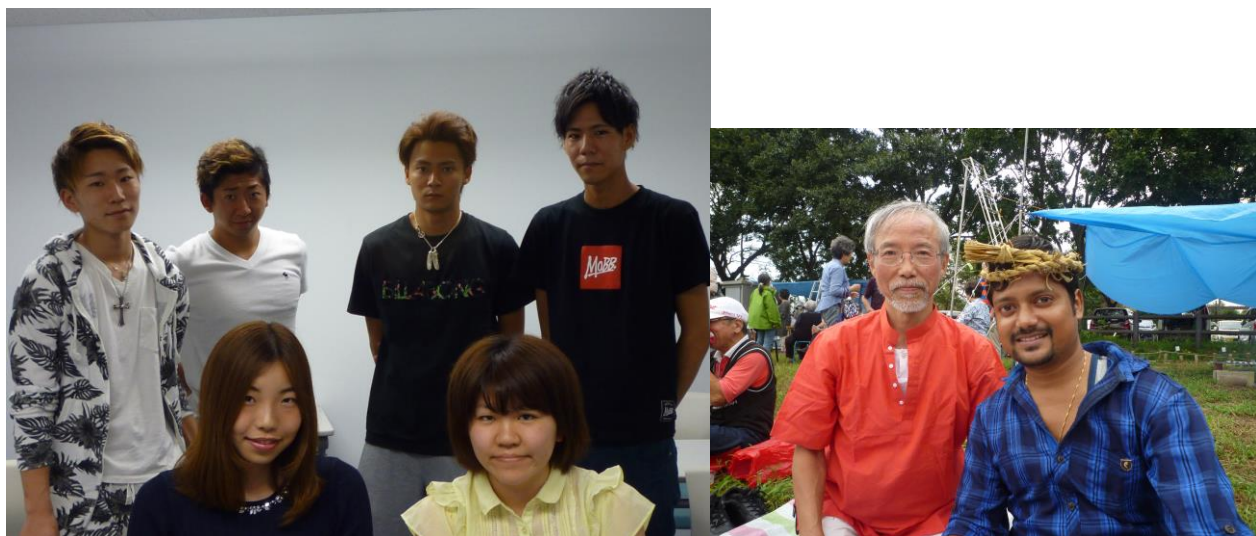


学ぶことを楽しむ、竹内ゼミ



竹内ゼミでは、

※大学祭での展示と研究発表を予定

※卒論のテーマは幅広い

- ◇インドを中心とする南アジアについての様々な視点からの「南アジア研究」「地域研究」
- ◇生と死の教育（デス・エデュケーション）、「生命倫理学」、「死生学」
- ◇宗教学、思想・哲学、モラロジー、人間学、比較思想、比較宗教
- ◇福祉の問題、障害、医療、ボランティア、社会の様々な問題
- ◇心理学、カウンセリング、ケアの倫理
- ◇仏教、キリスト教、ヒンドゥー教

※群馬県の谷川セミナーハウスでの合宿を行う

教員プロフィール: 徳島県出身、麗高卒。麗大の英語学科 1978 年卒。学生時代は、登山、英語劇、詩吟、油絵を楽しむ。1981 年からインドのタゴール国際大学に3年間留学。ベンガル語を学び、近代インド思想について博士論文を書く。2002 年、アメリカに1年間研究留学し、生命倫理・医療倫理について研究。ホスピスでボランティアも体験した。

公益財団法人 モラロジー研究所 道徳科学研究センター 人間学研究室室長、教授を兼務。

「NPO法人とうかつ・生と死を考える会」副理事長として、東葛地域の市民の人々とともに、生老病死について学び、患者さんや死別を体験した遺族のグリーフケア（死別の悲嘆のケア）に取り組んでいる。国際死生学会会員。宗教学会、比較文明学会の会員。趣味は、身近な自然との触れ合い、詩吟（師範）、読書、散歩。朝型の生活をしている。大学近くに住む。成人した二人の息子がいる。この8月、かつて若い頃に留学していたインドのタゴール国際大学で教えてきた。タゴール国際大学と本学との交流協定も結ばれた。「詩吟の会」で学生に教えている。大学祭で、今年も詩吟を披露する。「麗澤大学皇居勤労奉仕団」のアドバイザーとして、皇居勤労奉仕に参加する。

担当科目：比較思想、英語総合講座、国際教養、道徳科学、インド社会論、大学院で、アジア研究特論、比較思想研究。モラロジー研究所の「モラロジー専攻塾」では、毎朝7時50分からの英語の授業を担当。

ゼミ生への質問は、竹内まで:04-7173-3465(研究室:研究棟B-415)

Eメール: ktakeuti@reitaku-u.ac.jp